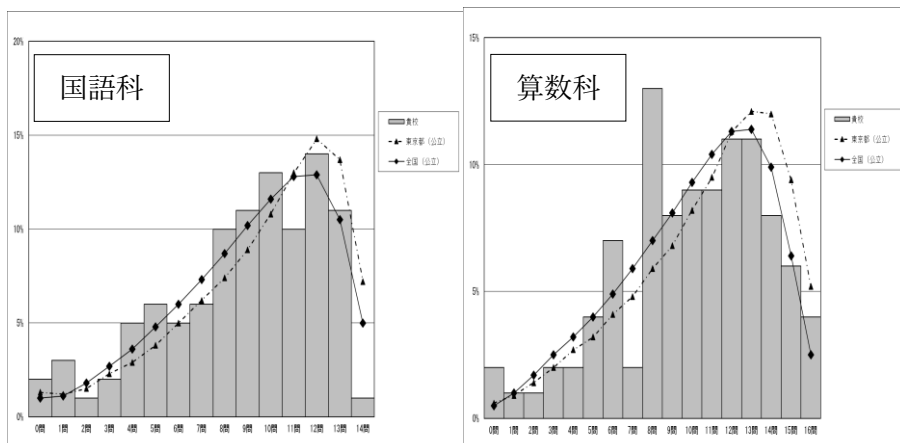


令和4年度 全国学力調査結果（6年）

江戸川区立鎌田小学校

正答分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）【棒：本校、点線：東京都、実践：全国】より



国語科では、10問（B評価）、12問（A評価）に山があり、8問目を境に人数が分かれているのが特徴です。

算数科では、正答数6問（C評価）、9問（B評価）、13、14問（A評価）で人数のばらつきが見られます。

学力の向上を目指して、基礎基本の一層の定着を図るとともに、今回課題として上がってきた、問いの文章で何を問われているか読み取る力や文章の構成を支える力、粘り強く考える力を育成することに力を入れてまいります。

読書活動や放課後補習の充実、校内研究で取り組んでいるICTの効果的活用を含めた授業改善に努めてまいります。

児童質問紙の集計結果より

「朝食を毎日食べているか」では、90%の児童が食べており、東京都や全国とほぼ変わりませんが、あまり食べていない、もしくは食べていない児童が10%おり、家庭での食生活の改善が課題であると考えます。

「携帯電話やスマートフォン、コンピュータの使い方について家の人との約束を守っているか」については、60%の児童が守っています。残りの40%のうち、20%の児童は「あまり守っていない、守っていない、家で決まりがない」と答えており SNS 使用上のルールの指導と家庭でのルールの見直しが必要です。

また特に注意が必要なのは1日当たりのゲーム時間で、毎日3時間以上ゲームをしている児童が40%を超えます。朝食、SNS 等におけるルール作り、ゲーム時間に関してぜひご家庭で話題にし、見直してみてください。

その一方で、「将来の夢や目標を持っているか」の質問では、75.5%の児童が肯定的な回答をしています。また、「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦できるか」では、60%の児童が挑戦できると回答しています。

以上のことより、本校の児童の傾向として、将来の夢や目標がある児童が多くいることが分かりました。また、何事にもチャレンジしていこうという意識も見られます。しかし、様々な意見に対して考えることや、言葉に表すことなど主体的な学びや対話的な学びに課題がある児童が少なくありません。今後は夢や目標を実現するために、今すべきことは何かを明確にしなが、辛抱強く考えること、夢や目標に向かって諦めずに進んでいくことを指導してまいります。